



本事業は、SDGsの「17 パートナリシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年7月9日(木)  
愛知県政策企画局国際課  
国際戦略グループ  
担当 織田、中井  
内線 2447、2399  
ダイヤルイン 052-954-6130

愛知県都市・交通局航空空港課  
利用促進グループ  
担当 安達、箱井  
内線 2271、2621  
ダイヤルイン 052-954-6133

## 知事の東南アジア渡航中の行事結果について

2026年7月8日(水)午後、知事はベトナム社会主義共和国ホーチミン市においてベトジェットエア社を訪問し、その後、ハ ホーチミン市人民委員会常任副委員長と面談しました。

### 1 ベトジェットエア社訪問

(担当：航空空港課)

#### (1) 日時

2026年7月8日(水)午後2時から午後3時まで  
(日本時間7月8日(水)午後4時から午後5時まで)

#### (2) 場所

ベトジェットプラザビル(ホーチミン市)

#### (3) 主な面談者

グエン・ターン・ソン CEO  
トー・ベト・タン 副社長

#### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

#### (5) 内容

大村知事は、ベトジェットエア社を訪問し、ソン CEO と面談しました。

大村知事は、「貴社を訪れるのは今回で3回目である。2022年の中部-ハノイ線等の就航に感謝申し上げる。人の往来を支える上で、航空ネットワークの充実は極めて重要である。さらなる交流の拡大に向けて、第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会や第60回アジア開発銀行年次総会の開催など、我々も様々な取組を行っていくので、両地域の架け橋である御社に、ベトナムと中部国際空港を結ぶ路線の維持・拡充についてお願いしたい。」など発言しました。

これに対してソン CEO からは、「ベトジェットエア社にとって、日本は最重要市場である。これからも愛知県をはじめ、ベトナムと日本を結ぶ新規路線の開設や既存路線の増便に取り組んでいきたい。現在、ダナンと日本を結ぶ新規路線の開設を検討中であり、中部国際空港への就航が実現し、両地域のさらなる交流を支えることができれば嬉しいと考えている。日本入国に必要な査証（ビザ）取得費用の増加といった課題もあるが、さらなる路線の充実に向けて、どのような形で取り組んでいけるか考えていきたい。」などの発言がありました。

これに対して大村知事は、「発言は、政府に対しても伝えたい。愛知県としては、両地域のさらなる交流促進に向けて、引き続き、様々な取組を進めていきたい。」などと応じました。



ベトジェットプラザビルの  
施設見学をする大村知事



ソン CEO との面談の様子



ソン CEO とアジア・アジアパラ大会  
マスコット「ホノホン・ウズミン」



ソン CEO、タン副社長、広瀬ホーチミン・  
愛知観光大使との集合写真

## 2 グエン・ロック・ハ ホーチミン市人民委員会常任副委員長との面談

(担当：国際課)

### (1) 日時

2026年7月8日(水) 午後4時35分から午後5時30分まで

(日本時間7月8日(水) 午後6時35分から午後7時30分まで)

### (2) 場所

ホーチミン市人民委員会庁舎(ホーチミン市)

### (3) 面談者

グエン・ロック・ハ ホーチミン市人民委員会常任副委員長

### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

### (5) 内容

大村知事は、ホーチミン市人民委員会庁舎を訪問し、ホーチミン市人民委員会のハ常任副委員長と面談しました。

初めに、ハ常任副委員長は、「知事の今回の訪問はホーチミン市と愛知県の友好協力協定の締結10周年を記念すべき年であり、意義がある訪問である。そして、愛知県では、今年、アジア競技大会及びアジアパラ競技大会が開催されるとのことで心よりお祝い申し上げます。愛知県の経験と能力、おもてなしがあれば成功すると確信している。」と発言されました。

これに対して大村知事は、「愛知県とホーチミン市は、2016年9月に私がホーチミン市を訪問し、この場所で『友好交流及び相互協力に関する覚書』を締結した。今年は、覚書を締結して10周年という記念すべき年である。今回の私のホーチミン市訪問は2024年8月以来5回目となるが、こうして貴市を訪問できたことを大変嬉しく思う。愛知県とホーチミン市は覚書に基づいて、様々な分野で交流を進めてきた。また、愛知県では、広瀬ベトナムフェスティバル実行委員長(ホーチミン・愛知観光大使)を中心に『ベトナムフェスティバルホーチミン in 愛知名古屋』が毎年開催されており、大いに盛り上がっている。私も毎年参加させていただいている。」と発言しました。

続けて大村知事は、「現在ベトナムには、愛知県から約210社が進出している。また、愛知県では、日本の大手総合商社である住友商事、丸紅、双日と協定を結び、県内企業によるベトナムへの投資を促進する取組を行っている。さらに愛知県は、2008年3月に当時の計画投資省と『経済交流に関する覚書』を締結し、県内企業のベトナムにおける事業展開を促進している。」と愛知県とホーチミン市の経済的なつながりの強さについて発言するとともに、「現在、愛知県には約71,000人のベトナムの方が在住しており、ベトナムの方が日本で1番多いのは愛知県である。また、中部国際空港とホーチミン市との間では週5便のフライトがある。現在就航中なのはベトナム航空であるが、この訪問の前にベトジェットエア社を訪問し、ベトナムと日本を結ぶ新規路線の開設や既存路線の増便を要請してきた。ホーチミン市人民委員会の皆様にもサポートをお願いしたい。」と発言しました。

さらに、大村知事は、「愛知県では今年9月から10月にかけて、アジア競技大会及びアジアパラ競技大会が開催される。アジア45の国と地域から、約20,000人の選手団を迎える予定であり、しっかりと準備を進めているところである。貴国は前回の中国・杭州大会において、空手、射撃、セパタクロー等で金メダルを獲得している。是非、今回の大会でもベトナム選手の活躍を期待している。」と発言し、アジア競技大会及びアジアパラ競技大会のPRをするるとともに、「2027年5月にはアジア開発銀行年次総会が愛知・名古屋で開催され、アジア・太平洋・アメリカ・ヨーロッパの約70の国から、政府・金融関係者が参加する予定である。」と述べました。

これを受けて、ハ常任副委員長は、「ホーチミン市と愛知県は10年間交流を続けてきた。さらに緊密な関係を促進していきたい。」と述べられるとともに、「より実質的な連携内容として、産業分野、インフラ整備、グリーン化・再生可能エネルギー、人材育成、国際レベルのスポーツイベントを行う際のノウハウの共有が考えられる。」と発言されました。また、「この後、ハノイも訪問すると伺っており、ハノイの政府要人と面談する際には、愛知県とホーチミン市の協力のことを伝えてほしい。」と述べられました。

最後に、ハ常任副委員長は「愛知県で開催されるアジア競技大会及びアジアパラ競技大会の成功を祈っている。」と発言されました。

これに対して大村知事は、「これからもホーチミン市の皆様とさらに連携を深めていきたい。」と応え、今後も両国の発展に向けて協力していくことを確認しました。



ハ常任副委員長との面談の様子



ハ常任副委員長とアジア・アジアパラ  
競技大会公式マスコット  
「ホノホン・ウズミン」



面談出席者との記念撮影



ハ常任副委員長と記念撮影